環境データ

301-1,302-1,302-2,302-3,302-4,302-5,303-3,303-4,303-5,305-1,305-2,305-3,305-4,305-5,305-6,305-7,306-1,306-3,306-4

環境マネジメント

▶集計対象としているサイト：(売上高比率100%)
日本(全事業所。ただし営業所とユニ・チャームメンリッケは燃料、電気、CO_2のみ)
ユニ・チャーム株式会社(本社事業所、営業所、開発)、ユニ・チャームプロダクツ株式会社(福島工場、静岡工場、四国工場、九州工場、伊丹工場、三重工場、埼玉工場*)、ユニ・チャーム国光ノンウーヴン株式会社(豊浜製造チーム、川之江製造チーム、国光製造チーム)、コスモテック株式会社、ユニ・チャームメンリッケ株式会社、ペパーレット株式会社、金生プロダクツ株式会社

海外(製造事業所のみ)
中国：尤妮佳生活用品(中国)有限公司(上海工場、天津工場、江蘇工場)、尤妮佳无布(天津)有限公司、尤妮佳包装材料(天津)有限公司
インドネシア：PT UNI-CHARM INDONESIA Tbk (カラワン工場、イーストジャワ工場)、PT. Unicharm Nonwoven Indonesia
タイ：Uni.Charm (Thailand) Co., Ltd. (ウェルグロー工場)、DSG International (Thailand) Public Co., Ltd.
インド：Unicharm India Private Ltd. (スリシティ工場、ニムラナ工場)
台湾-大中華圏：嬌聯股份有限公司(竹南工場)
ベトナム：Diana Unicharm Joint Stock Company (バクニン工場)
アメリカ：The Hartz Mountain Corporation (プレザントプレイン工場)
韓国：LG Unicharm Co., Ltd. (亀尾工場)
サウジアラビア：Unicharm Gulf Hygienic Industries Co. Ltd. (リヤド工場)
エジプト：Unicharm Middle East & North Africa Hygienic Industries Company S.A.E. (ラマダン工場)
ブラジル：UNICHARM DO BRASIL INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE PRODUTOS DE HIGIENE LTDA. (サンパウロ工場)
ミャンマー：Unicharm Myanmar Company Limited
マレーシア：DSG (MALAYSIA) SDN. BHD.
* 伊丹・三重・埼玉工場は2024年5月にユニ・チャーム株式会社からユニ・チャームプロダクツ株式会社に事業移管。

方針・基準
「GHGプロトコル」を参考にした、環境情報管理に関する社内規定に基づき集計しています。

数値
原則として、単位未満で四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

注記事項
1. Scope1に関してはGHGプロトコルのEmission Factors for Cross-Sector Toolsに基づく算定を行っています(エネルギー換算に際しては低位発熱量を使用)。
2. Scope2に関しては、電気のCO_2の排出量は日本国内分は、環境省の温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度の電気事業者別排出係数に基づく算定、海外分についてはIEAの排出係数に基づく算定を行っています。ブラジルは再生可能電力100%で、ミャンマーは自家発電100%となります。蒸気に関しては、「温室効果ガス排出量計算のための算定式および排出係数一覧」の排出係数にて算定しています。
3. Scope3に関しては、LCIデータベース AIST-IDEA Ver.3.4 国立研究開発法人産業技術総合研究所安全科学研究部門IDEAラボ、IPCC2021 with LULUCF AR6に基づく算定を行っています。2023年度以前の数値も上記DBに基づき再算定を行うとともに、活動量の算定方法の見直しも行いました。また海外分はScope3-1、3-2、3-3、3-5、3-6、3-7、3-12、3-15は活動量から算出しましたが、その他のカテゴリーは売上高比率による推計値としています。
4. 輸送については日本のみ集計しています。P.139の海外分Scope3においては、日本との売上比による推計値を記載しています。
5. 温室効果ガス排出量の定量化は、活動量データの測定、および排出係数の決定に関する不確実性ならびに地球温暖化係数の決定に関する科学的不確実性にさらされています。
6. Scope2のエネルギー換算に関しては、「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」に基づく算定を行っていますが、過年度である2022年度、2023年度に関しても最新の法律に基づき算定を行っています。なお、電力は3.6GJ／千kWhで換算しています。
7. 排水量を測定していない一部の拠点においては、排水量＝取水量とみなして集計しています。
8. 廃棄物には、産業廃棄物、事業系一般廃棄物、有価取引物を含みます。
9. 認証材(パルプ・パーム油)は対象拠点・対象資材の追加等を実施したため、過年度となる2022年度、2023年度の数値も遡及して修正しています。
10. 非財務情報の信頼性を高めるため、KPMGあずさサステナビリティ株式会社によるISAE3000および3410に基づく第三者保証を受けています。第三者保証該当箇所には✓マークを記載しました。

▶ ライフサイクルで見るエネルギー・マテリアルフロー

INPUT (2024年度実績)

商品づくりのインプット

原材料・副資材		
資源	日本	612千ton

資源		
重油・軽油・ガソリン 計156TJ	日本	78TJ
	海外	78TJ
LPG・天然ガス・都市ガス 計322TJ	日本	250TJ
	海外	72TJ
蒸気 計1TJ	日本	0TJ
	海外	1TJ
電気 計825GWh	日本	262GWh
	海外	563GWh
水 ✓計4,846千m^3	日本	3,802千m^3
	海外	1,044千m^3

輸送のインプット

資源		
軽油	日本	15.4千kl

資源 → 資材メーカー → 輸送 → 生産 → 商品 (日本 512千ton) → 輸送 → 卸・小売店 → 消費

OUTPUT (2024年度実績)

排水 ✓計3,835千m^3	日本	2,875千m^3	河川放流 大気放出
	海外	960千m^3	
CO_2(Scope1・2) ✓計385千ton	日本	99千ton	
	海外	286千ton	
廃棄物 ✓計77千ton	日本	25千ton	リサイクル 69千ton 委託処理分 8千ton
	海外	53千ton	
敷地外廃棄物 計77千ton			
リサイクル	日本	23千ton	
委託処分	日本	1千ton	
リサイクル	海外	46千ton	
委託処分	海外	7千ton	

CO_2	日本	82.0千ton	大気放出
NOx	日本	1.9千ton	

廃棄物	日本	1,444千ton	廃棄・焼却・リサイクル
容器包装	日本	12.2千ton	

集計期間：2024年1月1日～12月31日
集計範囲：左記の通りです
第三者保証該当箇所：✓
P.154 第三者保証報告書

▶ 商品づくりにおけるインプット

原材料・副資材

		単位	2022	2023	2024
資源	日本	千ton	658	648	612

資源

		単位	2022	2023	2024
重油・軽油・ガソリン	日本	TJ	76	96	78
	海外		12	76	78
	合計	TJ	**88**	**172**	**156**
LPG・天然ガス・都市ガス	日本	TJ	190	220	250
	海外		75	67	72
	合計	TJ	**265**	**287**	**322**
蒸気	日本	TJ	90	7	0
	海外		1	1	1
	合計	TJ	**91**	**8**	**1**
電気	日本	GWh	272	254	262
	海外		587	563	563
	合計	GWh	**859**	**817**	**825**
水	日本	千m^3	3,670	3,718	3,802
	海外		1,082	1,103	1,044
	合計	千m^3	**4,752**	**4,821**	✓ **4,846**
輸送における軽油	日本	千kl	18.3	18.1	15.4

▶ アウトプット

		単位	2022	2023	2024
排水	日本	千m^3	3,296	3,169	2,875
	海外		1,003	1,020	960
	合計	千m^3	**4,299**	**4,189**	✓ **3,835**
CO_2(Scope1・2)	日本	千ton	136	102	99
	海外		350	304	286
	合計	千ton	**486**	**406**	✓ **385**
廃棄物	日本	千ton	26	24	25
	海外		61	56	53
	合計	千ton	**88**	**80**	✓ **77**
敷地外廃棄物	日本　リサイクル	千ton	23	23	23
	日本　委託処分		1	1	1
	海外　リサイクル		49	48	46
	海外　委託処分		12	8	7
	合計	千ton	**86**	**80**	**77**
敷地内廃棄物	**合計**	千ton	**2**	**—**	**—**
輸送におけるCO_2	日本	千ton	121.2	120.9	82.0
輸送におけるNOx	日本	千ton	2.3	2.2	1.9
消費における廃棄物	日本	千ton	1,566	1,542	1,444
消費における容器包装	日本	千ton	14.7	14.5	12.2

▶ 【日本】商品総重量

	単位	2022	2023	2024
商品総重量	千ton	481	474	512

環境基本方針

▶ CDP評価

	2022	2023	2024
気候変動	A–	A–	A
フォレスト	B	A	A
水セキュリティ	B	A	A

循環型社会

プラスチック問題対応

▶ 使用済み商品廃棄方法啓発

	2022	2023	2024
使用済み商品廃棄方法啓発展開率	50% (8ヵ国・地域)	56% (9ヵ国・地域)	63% (10ヵ国・地域)

▶ 販促物におけるプラスチック使用量(ton)

	2022	2023	2024
日本	5.7	4.1	0.8
中国	—	28.2	7.6
ベトナム	18.4	15.5	11.5
インド	—	154.4	120.9

脱炭素社会

気候変動対応

▶ エネルギー使用量

		単位	2022	2023	2024
日本		TJ	1,379	1,237	1,270
海外	タイ	TJ	397	390	364
	中国		372	382	393
	インドネシア		561	532	520
	インド		230	256	271
	ベトナム		139	139	141
	台湾–大中華圏		27	26	24
	アメリカ		22	17	17
	韓国		49	46	47
	サウジアラビア		213	212	239
	エジプト		59	73	77
	ミャンマー		7	7	7
	ブラジル		48	53	51
	マレーシア		44	36	27
	海外合計	TJ	2,169	2,169	2,179
合計		TJ	**3,548**	**3,406**	✓**3,449**
原単位*		TJ／百万円	0.004	0.004	0.003

※ GHGプロトコルのEmission factors for Cross-Sector Toolsに基づく算定を行っています(低位発熱量を使用)。なお、電力は3.6GJ／千kWhで換算しています。

* 原単位の分母には連結売上高を使用しています。

▶ Scope別・カテゴリー別CO_2排出量

Scope		カテゴリー	単位	2022	2023	2024	備考
Scope1		直接排出	千ton	31.6	29.2	✓ 30.1	
Scope2		エネルギー起源の間接排出	千ton	454.5	376.9	✓ 354.6	
Scope3*1	1	購入	千ton	3,830.6	3,756.1	✓ 3,877.7	
	2	資本財		85.2	99.0	121.2	
	3	その他燃料		59.3	51.1	49.5	
	4	上流輸送		320.7	225.5	206.7	*2
	5	事業廃棄物		40.1	28.7	26.2	
	6	従業員の出張		2.1	2.0	2.1	
	7	従業員の通勤		12.7	12.8	13.2	
	8	上流のリース資産		0.0	0.0	0.0	*3
	9	下流輸送		79.9	81.0	63.2	*2
	10	販売した商品の加工		0.0	0.0	0.0	*3
	11	商品の使用		0.0	0.0	0.0	*3
	12	販売した商品の廃棄		2,151.8	1,875.7	✓ 1,903.4	
	13	下流のリース資産		0.0	0.0	0.0	*3
	14	フランチャイズ		0.0	0.0	0.0	*3
	15	投資		39.6	34.7	21.3	
	Scope3 合計		千ton	6,622.0	6,166.5	6,284.5	
合計			千ton	**7,108.1**	**6,572.6**	**6,669.2**	
原単位*4			ton／百万円	7.915	6.979	6.744	

*1 Scope3に関しては、LCIデータベース AIST-IDEA Ver.3.4 国立研究開発法人産業技術総合研究所安全科学研究部門 IDEAラボ、IPCC2021 with LULUCF AR6に基づく算定を行っています。また、2023年度以前の数値も上記DBに基づき再算定を行うとともに、活動量の算定方法の見直しも行いました。

*2 海外分はScope3-1、3-2、3-3、3-5、3-6、3-7、3-12、3-15は活動量から算出しましたが、その他のカテゴリーは売上比による推計値としています。

*3 対象となる業務はありません。

*4 原単位の分母には連結売上高を使用しています。

▶ Scope1、Scope2　CO_2排出量

		単位	2022	2023	2024
日本		千ton	136.3	102.1	99.0
海外	タイ	千ton	40.5	37.2	40.4
	中国		47.5	25.7	31.0
	インドネシア		119.9	106.6	91.4
	インド		46.4	44.2	44.5
	ベトナム		22.3	21.3	16.7
	台湾–大中華圏		3.8	3.3	3.3
	アメリカ		0.1	0.1	0.1
	韓国		12.1	11.2	5.2
	サウジアラビア		39.2	37.6	40.2
	エジプト		9.7	11.5	8.5
	ミャンマー		0.6	0.5	0.5
	ブラジル		0.1	0.1	0.1
	マレーシア		7.7	4.8	3.6
	海外合計	千ton	349.8	304.0	285.7
合計		千ton	**486.1**	**406.2**	✓ **384.7**
原単位*5		ton／百万円	0.541	0.431	0.389

*5 原単位の分母には連結売上高を使用しています。

▶ Scope3　CO_2排出量

		単位	2022	2023	2024
日本		千ton	2,662.9	2,375.4	2,505.5
海外	タイ	千ton	582.6	717.2	642.5
	中国		693.0	677.5	622.6
	インドネシア		939.2	799.4	743.7
	インド		533.7	500.1	567.1
	ベトナム		174.9	217.6	211.9
	台湾–大中華圏		69.7	67.2	65.4
	アメリカ		154.1	75.2	92.4
	韓国		68.1	62.8	62.6
	サウジアラビア		428.6	427.2	523.5
	エジプト		83.6	89.8	103.6
	ミャンマー		9.6	6.1	5.8
	ブラジル		133.6	91.0	77.8
	マレーシア		88.3	60.0	60.1
	海外合計	千ton	3,959.1	3,791.1	3,779.0
合計		千ton	**6,622.0**	**6,166.5**	**6,284.5**
原単位*		ton／百万円	7.374	6.548	6.355

* 原単位の分母には連結売上高を使用しています。

▶ 再生可能電力調達量

		単位	2022	2023	2024
日本		千kWh	34,274	77,006	91,954
海外	タイ	千kWh	10,678	14,707	15,848
	中国		23,143	53,831	48,851
	インドネシア		927	8,229	18,858
	インド		0	5,880	10,626
	ベトナム		5,146	5,231	5,364
	台湾–大中華圏		0	390	472
	アメリカ		6,188	4,361	4,501
	韓国		0	0	665
	サウジアラビア		0	0	53
	エジプト		0	0	0
	ミャンマー		0	0	0
	ブラジル		13,230	14,199	13,758
	マレーシア		0	2,087	1,704
	海外合計	千kWh	59,312	108,915	120,700
合計		千kWh	**93,586**	**185,921**	**212,654**
再生可能電力比率		%	11.0	22.8	25.8

生物多様性社会

生物多様性保全

▶ 森林由来原材料

		単位	2022	2023	2024
第三者認証森林由来原材料調達量	日本	ton	155,378	163,317	135,946
	海外		299,731	257,829	296,861
	合計	ton	**455,109**	**421,146**	**432,807**
原産地トレーサビリティ比率*1	日本	%	100.0	100.0	99.8
	海外		95.7	97.5	99.1
	合計	%	**97.1**	**99.2**	**99.3**

*1 トレーサビリティ比率は、第三者認証材に加え、原産地（国・地域）トレーサビリティ確認ができた森林由来原材料（パルプ）の比率。

▶ PEFC・CoC認証

	単位	2022	2023	2024
PEFC・CoC認証工場数比率*2	%	48.4	58.6	60.0
パルプのPEFC認証材調達比率*3		72.3	65.3	✓70.3

*2 認証工場数比率は対象となる工場数を見直したため、2023年度以前の数値を遡及して再計算しました。
*3 対象となる工場数および海外の集計範囲を見直したため、2023年度の数値を遡及して再計算しました。

▶ 事務用紙の認証材比率

	単位	2022	2023	2024
事務用紙の環境配慮品比率	%	99.9	99.6	99.9
100%古紙を配合した事務用紙		97.7	83.5	37.6
認証材を使用した事務用紙		2.2	16.1	62.3

▶ オーガニックコットンを使った商品数（日本）

	商品数
2022	33
2023	53
2024	42

▶ パーム油（日本）*4

	単位	2022	2023	2024
パーム油調達量	ton	189.6	193.4	195.8
認証パーム油*5調達量		119.0	113.1	194.6
原産地トレーサビリティ比率	%	62.8	58.5	99.4
認証パーム油*5調達比率		62.8	58.5	✓99.4

*4 集計の対象資材を追加したため、2023年度以前の数値を遡及して再計算しました。
*5 認証パーム油は、マスバランス方式によるRSPO認証油。

廃棄物削減と汚染防止

▶ 廃棄物発生量

		単位	2022	2023	2024
日本		千ton	26.3	23.9	24.5
海外	タイ	千ton	7.6	7.3	6.5
	中国		17.1	17.8	16.3
	インドネシア		8.1	7.2	6.5
	インド		8.0	6.6	7.2
	ベトナム		5.8	5.7	5.3
	台湾–大中華圏		0.8	0.7	0.6
	アメリカ		4.0	1.0	0.9
	韓国		1.5	1.3	1.2
	サウジアラビア		4.1	4.2	4.5
	エジプト		1.7	1.9	2.1
	ミャンマー		0.011	0.013	0.008
	ブラジル		1.2	1.2	1.2
	マレーシア		1.3	1.0	0.7
	海外合計	千ton	61.2	55.8	53.0
合計		千ton	**87.5**	**79.8**	✓**77.5**
原単位*6		ton／百万円	0.097	0.085	0.078

*6 原単位の分母には連結売上高を使用しています。

▶ リサイクル率

	単位	2022	2023	2024
日本*1	%	99.3	99.6	99.3

*1 国内主要4拠点(ユニ・チャームプロダクツ株式会社の福島工場・静岡工場・四国工場・九州工場)のマテリアルリサイクルとサーマルリサイクル(福島工場の焼却炉が稼働していた2022年度まで)の合計で算出。

▶ 【日本】PCB(ポリ塩化ビフェニル)保管状況

	単位	2022	2023	2024
PCB保管台数	台	0	0	0

▶ 【日本】PRTR(化学物質排出移動量届出制度)対象物質総排出量

物質名称	単位	2022	2023	2024
トルエン	ton／年	43.2	180.1	208.2
エチレンオキシド	kg／年	95.8	31.9	4.9
ダイオキシン	mg-TEQ／年	0.290	—	—
メチルナフタレン	ton／年	0.10	0.04	0.04
アジピン酸、(N-(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミンまたはN,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン)と2-(クロロメチル)オキシランの重縮合物	ton／年	—	—	0.61

▶ 【日本】NOx・SOx排出量

	単位	2022	2023	2024
NOx	ton	15.2	12.2	12.4
NOx原単位*2	kg／百万円	0.053	0.038	0.036
SOx	ton	5.7	9.3	3.6
SOx原単位*2	kg／百万円	0.020	0.029	0.011

*2 原単位の分母には連結売上高を使用しています。

▶ 【日本】オゾン層破壊物質保有量

物質名称	事業所	用途	単位	2024
ハロン(第1種)	ユニ・チャームプロダクツ静岡工場	消火剤	ton	1.6
	ユニ・チャームプロダクツ四国工場(香川)			0.07
	ユニ・チャーム(その他開発等 香川)			0.0001
HCFC(第1種)	ユニ・チャームプロダクツ福島工場	冷媒	ton	2.6
	ユニ・チャームプロダクツ静岡工場			3.6
	ユニ・チャームプロダクツ九州工場(福岡)			2.3
	ユニ・チャームプロダクツ四国工場(香川)			3.7
	ユニ・チャーム国光ノンウーヴン(愛媛・香川)			0.65
	ユニ・チャーム(ペットケア：兵庫・三重・埼玉)			0.93
	ペパーレット(静岡)			0.04
	ユニ・チャーム(その他開発等 香川)			0.86
CFC	ユニ・チャーム(その他開発等 香川)	冷媒	ton	0.001

※ フロン排出抑制法に基づく自社物件について報告しています。

▶ 【日本】BOD・COD

	単位	2022	2023	2024
BOD	ton	14.4	16.2	17.0
COD		9.8	18.6	19.4

水循環社会

水資源

▶ 水使用量(取水量)

	単位	2022	2023	2024
日本	千m³	3,670	3,718	3,802
海外		1,082	1,103	1,044
合計	千m³	**4,752**	**4,821**	✓ **4,846**
原単位*1	千m³/百万円	0.005	0.005	0.005

*1 原単位の分母には連結売上高を使用しています。

▶ 【日本】水源別水使用量(取水量)

	単位	2022	2023	2024
表層水(河川、湖沼、池)	千m³	157	152	150
地下水		697	660	692
その他		2,816	2,906	2,960
合計	千m³	**3,670**	**3,718**	**3,802**
うち、水質汚濁防止法特定施設を有する拠点				
表層水(河川、湖沼、池)	千m³	6	4	8
地下水		406	389	416
その他		2,816	2,906	2,960

▶ 【海外】水源別水使用量(取水量)*2

	単位	2022	2023	2024
表層水(河川、湖沼、池)	千m³	960	996	927
地下水		79	61	41
その他		43	46	76
合計	千m³	**1,082**	**1,103**	**1,044**
うち、高い水ストレスを伴う地域				
表層水(河川、湖沼、池)	千m³	640	678	614
地下水		71	54	34
その他		0	13	46

*2 2024年度より一部分類の見直しを行いました。これに伴い、2023年度の数値も遡及して再計算しました。

▶ 排水量*3

	単位	2022	2023	2024
日本	千m³	3,296	3,169	2,875
海外		1,003	1,020	960
合計	千m³	**4,299**	**4,189**	✓ **3,835**
原単位*4	千m³/百万円	0.005	0.004	0.004

*3 排水量を測定していない一部の拠点においては、排水量＝取水量とみなして集計しています。 2024年度より一部推計値の修正と算出方法の見直しを行いました。これに伴い、2023年度以前の数値も遡及して再計算しました。
*4 原単位の分母には連結売上高を使用しています。

▶ 水ストレススコア*5

	単位	2024
極めて高い	工場数	11
高い		3
中程度		11
低い		15

*5 水ストレスの把握には、世界資源研究所(WRI)のツールであるアキダクト(Aqueduct Overall Water Risk Map)を使用しています。

▶ 高い水ストレスを伴う地域からの取水量・割合

	単位	2022	2023	2024
高い水ストレスを伴う地域からの取水量	千m³	711	745	694
高い水ストレスを伴う地域からの取水量の割合	%	15.0	15.5	14.3